

(案)

令和 2年 月 日

二宮町長
村田 邦子 様

二宮町総合戦略評価委員会
会 長 湯川 恵子

二宮町総合戦略評価に係る意見書の提出について

このたび、「二宮町総合戦略」の評価に対し、二宮町政策評価委員会としての意見を「総合戦略評価シート」のとおり、とりまとめました。

また、とりまとめに際し、本委員会において、さまざまな意見交換が行われましたので、「二宮町総合戦略評価について（意見）」として、別添のとおり、提出します。

ご一読のうえ、今後の「二宮町総合戦略」の推進に活用くださいますよう、お願い申し上げます。

二宮町総合戦略評価について（意見）

「二宮町総合戦略」に掲げる4つの基本目標に基づく12本の施策について、各委員の経験や知見を活かし、町民としての視点、また第三者としての視点から、客観的及び具体的に、今後の「二宮町総合戦略」の推進に有効なものとなるよう、議論を進めてきました。

今回12本の施策について、取り組み内容やKPIの達成状況などから、行政内部における進行管理の妥当性を評価したところ、6本の施策について内部評価との相違がありました。しかし、今後の取り組みをより一層、効果的かつ効率的なものとしていくための評価であることから、町は各委員から出された意見を参酌し、今後の地方創生の推進に役立てていただきたいと思います。

まず、公共施設再配置・町有地有効活用事業における東大果樹園跡地有効活用事業や安心して住み続けられる地域再生事業における一色小学校区地域再生協議会の活動など、特定の分野で評価の高い取り組みはあったものの、町全体としての広がりや効果が限定的であるという意見がありました。今後は、評価の高かった取り組みを町の方針を明確にしつつ、全町的に広げていく方策を検討する必要があります。

また、防災や健康づくり、子育て支援など取り組みに進捗がある施策が認められるものの、町民に対する取り組み周知や意識向上といった広報活動が不十分であるといった意見が散見されたほか、町の今後のビジョンや方向性が見えないといった意見もありました。事業効果を高め、町の将来に向けての安心感を醸成するためにも、事業や取り組みだけでなく、町の方針等について、どのように町民に広報していくか、手段を含めた広報のあり方についても検討する必要があります。

なお、KPIについては、一部において施策の効果を検証するものとして、適切とは言い難いものが散見されました。PDCAサイクルにより、さらに効果的な事業とするためにも、成果を的確に反映できる指標となるよう見直しを図るとともに、今後策定される次期総合戦略策定の際は、十分留意のうえ、設定する必要があります。

最後に、この意見書が「二宮町人口ビジョン」の実現に寄与するとともに、町民の負託に応える町政の実現の一助となることを期待します。

二宮町総合戦略評価シート（30年度実績）

資料 2-3

基本目標	安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり

1次評価（プロジェクト推進担当課長）

プロジェクト	公共施設の総合的なマネジメントプロジェクト	該当予算 事業数	企画政策課長			
			A	B	C	D
実施計画事業	01 安心して住み続けられる地域再生事業	1	●			
	02 公有財産管理運営事業	25	●			
	03 教育施設整備事業	1	●			
	04 コミュニティ・スクール導入促進事業	1	●			
	05 道路整備・管理事業	3	●			
	06 公園整備・管理事業	2		●		
	07 公共下水道事業	1	●			

1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進	<input type="checkbox"/> 見直し(要改善)	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
------	--	-----------------------------------	--------------------------------

平成30年度の 取り組み	成 果	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設再配置・町有地有効活用実施計画に基づく取り組みを推進した。 <ul style="list-style-type: none"> ○新庁舎建設の基本構想・基本計画の策定に向け準備をした。 ○町営プールの方向性を決定した。 ○公共施設予約システムを導入した。 ○駅前町民会館を解体した。
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ①公共施設予約システムの運用にあたり、施設使用者の利便性向上及び利用促進を図る必要がある。 ②地区の見直しとともに、地域集会施設の統廃合についても検討する必要がある。 ③新庁舎整備について、町民等の理解を広める必要がある。
	改善点(課題番号に対応)	<ul style="list-style-type: none"> ①予約システムの運用上の課題の検証、対象施設の拡大について検討を行う。 ②情報収集により現況を整理し、地区と協議をするための準備を整える。 ③町民説明会や議会等の意見を踏まえ、情報を整理し、様々な媒体により周知を図る。

プロジェクト	大規模公有地の有効活用プロジェクト	該当予算 事業数	企画政策課長			
			A	B	C	D
実施計画事業	01 安心して住み続けられる地域再生事業	1	●			
	02 公有財産管理運営事業	25	●			
	03 東大跡地・国立小児病院跡地の検討	1	●			

1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進	<input type="checkbox"/> 見直し(要改善)	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
------	--	-----------------------------------	--------------------------------

平成30年度の 取り組み	成 果	<ul style="list-style-type: none"> 東京大学果樹園跡地の活用における社会実験として、「二宮市（平成30年11月10日開催）」及び「キャンプイベント（平成31年3月2日、3日開催）」のイベントを実施した。 これまでの検討会参加者から会員を募り、「東京大学果樹園跡地活用協議会」を設立（平成31年3月16日）し、平成31年度の取り組みに向け準備を進めた。
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ①今後の東京大学果樹園跡地の活用に向け、安全に使えるための整備や多様な団体や一般の住民が利用しやすい整備を行う必要がある。 ②東京大学果樹園跡地の活用に関する取り組みを、一般町民への認知度向上を図る必要がある。
	改善点(課題番号に対応)	<ul style="list-style-type: none"> ①東京大学果樹園跡地活用協議会とともに、活動方針や役割分担、利用料の設定といった運営の基盤を固める。 ②協議会を中心に様々な媒体での広報活動を行う。

2次評価（施策主管部長）

施策主管部長

政策担当部長

重要業績評価指標 (KPI)について	指標名：公共施設の総延床面積					
	基準値	H28	H29	H30	H31	目標値
	67,824㎡	67,824㎡	67,824㎡	67,135㎡		67,506㎡以下
	達成状況に関する分析					
	<p>駅前町民会館を廃止・解体したことにより、平成30年度に目標値を達成した。平成31年度に廃止予定の施設はないため「継続推進」とし、今後のKPIを検討する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し</p> <p>「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案</p>					
2次評価	公共施設の総合的マネジメントプロジェクトの成果について					
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない					
	説明					
	公共施設再配置・町有地活用実施計画とは別に検討することになっていた、庁舎・学校施設について計画（案）が策定された。様々な施設の廃止・統合には住民理解が不可欠であるので、丁寧な説明に努める必要がある。					
	大規模公有地の有効活用プロジェクトの成果について					
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない					
説明						
KPI達成に直接寄与しないものの、遊休公有地を町民と共に有効活用するモデル事業がスタートした。						
施策：公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくりの成果について						
<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった						
<input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった						

外部評価（二宮町総合戦略評価委員会）

事業効果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった	<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった
	<input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった
意見	<p>施策「公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>公共施設再配置・町有地有効活用実施計画に示した町有地や公共施設のあり方について、東大果樹園跡地の利用など一部の取り組みが前進していることは認められるものの、全体としての進捗が見えないことと、延べ床面積等の削減目標が機能の引継ぎや利便性の向上を含めた中身の伴った削減として見えない部分がある。今後は、計画の内容や目標、進捗などを町民と共有できるよう情報の発信について力を入れるなど、計画推進にあたって改善すべき点がある。</p>	

二宮町総合戦略評価シート（30年度実績）

基本目標	安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり

1次評価（プロジェクト推進担当課長）

プロジェクト	高齢者がいきいきと暮らせる生活支援プロジェクト	該当予算 事業数	高齡介護課長			
			A	B	C	D
実施計画事業	01 生活支援サービス推進事業	5	●			
	02 社会福祉関係事業	1		●		
	03 地域福祉支援事業	2	●			
	04 高齢者生きがい対策事業	1	●			
	05 地域コミュニティ支援事業	1	●			
	06 一般介護予防事業	2	●			
	07 障がい者地域生活支援事業	1	●			
	08 在宅障がい者支援事業	3		●		
	09 地域医療連携推進事業	2	●			

1次評価 継続推進 見直し(要改善) 休止・廃止

平成30年度の
取り組み

成果

- ・ 少子高齢化、人口減少社会に向けた地域づくりを考えるための事業の取り組み、認知症施策、在宅医療連携事業の充実を図った。
- ・ 社協、民生委員、ゆめクラブなど関係機関や団体等との連携を図り、地域福祉や生きがい対策の推進に取り組んだ。
- ・ 障害のある方やその家族等の生活に必要な支援及び経済的負担軽減を実施した。

課題

①地域づくりの話し合いや情報共有を行うなど徐々に取り組み始めているが、具体的な取り組みには至っていない。
②認知症の新規事業の周知方法を検討する。

改善点(課題番号に対応)

①県等の支援を受けながら、具体的な取り組みができるよう町民の活動支援を行っていく。
②広報やHPだけでなく、ちらしを作成し周知に努める。

プロジェクト推進担当課長 子育て・健康課長

プロジェクト	みんなで健康づくりプロジェクト	該当予算 事業数	子育て・健康課長			
			A	B	C	D
実施計画事業	01 保健サービス推進事業	5	●			
	02 一般介護予防事業	2	●			
	03 スポーツ推進団体支援事業	2		●		
	04 安心して住み続けられる地域再生事業	1	●			
	05 生活支援サービス推進事業	1	●			

1次評価 継続推進 見直し(要改善) 休止・廃止

平成30年度の
取り組み

成果

- ・ 未病センターや通いの場を利用して、健康相談や健診案内、介護予防について講座や周知を行なった。
- ・ 自殺対策計画の策定。

課題

①各種がん検診、特定健診等の無関心層へのアプローチ
②重症化予防事業の実施方法

改善点(課題番号に対応)

①受診率向上のための電話勧奨では接触が難しいので、はがきでの勧奨を実施してみる。
②健康課題の抽出を行い、それに沿った事業が展開できるよう検討していく。

2次評価（施策主管部長）

施策主管部長

健康福祉部長

重要業績評価指標 (KPI)について	指標名：健康寿命(国保データベース)					
	基準値	H28	H29	H30	H31	目標値
	男:65.9歳 女:67.1歳	男:65.9歳 女:67.1歳	男:65.9歳 女:67.1歳	-		男:67.0歳 女:68.0歳
	達成状況に関する分析					
	国保データベースによる健康寿命の算出基準が変更され、比較対象となる数値が出ないため、今後指標を見直す必要がある。					
	<input type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し					
	「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案					
	指標名：運動習慣がある人の割合					
	基準値	H28	H29	H30	H31	目標値
	39.5% H28アンケート	38.1% H29アンケート	41.1% H30アンケート	43.0% H31アンケート		50.0%以上
達成状況に関する分析						
運動習慣のある人の割合は上昇傾向にあるものの、目標達成に向け更に取り組みを進める必要がある。						
<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し						
「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案						
2次評価	高齢者がいきいきと暮らせる生活支援プロジェクト の成果について					
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない					
	説明					
	地域が主体となって通いの場の運営が充実したことにより、高齢者の健康づくりや介護予防が促進された。					
	みんなで健康づくりプロジェクト の成果について					
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない					
	説明					
	未病センターや通いの場等を通じ、運動習慣や食生活の改善について実践指導や意識啓発を図ることができた。					
施策： 誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり の成果について						
<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった						
<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった						

外部評価（二宮町総合戦略評価委員会）

事業効果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった
	<input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった
意見	<p>施策「誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり」について、目標達成に向けた進捗は概ね順調ではあるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある。</p> <p>地域の通いの場など、評価できる取り組みが複数あるものの、その取り組みがどこまで町民に伝わっているかという課題と、支援を必要としている人に行き届いているかについて確認する必要がある、取り組みの広報およびアウトリーチを含めた支援を必要とする人へのサービスの提供方法について検討する必要がある。</p> <p>また、健康寿命という評価指標について、町でも課題があると認識し新たな指標の設定を検討するようであるが、町の特徴を捉えた健康事情に配慮した指標となるよう考慮すること。</p>

二宮町総合戦略評価シート（30年度実績）

基本目標	安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	地域コミュニティの醸成支援

1次評価（プロジェクト推進担当課長）

1次評価（プロジェクト推進担当課長）		プロジェクト担当課長	地域政策課長			
プロジェクト	みんなで地域コミュニティ再生・活性化プロジェクト	該当予算 事業数	A	B	C	D
実施計画事業	01 安心して住み続けられる地域再生事業	2	●			
	02 地域コミュニティ支援事業	1	●			
	03 町民活動創出支援事業	1	●			
	04 住宅ストック管理流通活用事業	1	●			
1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し(要改善) <input type="checkbox"/> 休止・廃止					
平成30年度の 取り組み	成 果					
	<ul style="list-style-type: none"> ・一色小学校区地域再生協議会の活動は、地域の人と人とのつながりを深めた。 ・各種リフォーム補助事業を統合し「住宅リフォーム等助成事業」とした。 					
	課 題					
	①住宅リフォーム等助成事業は令和元年度で終了する。					
改善点(課題番号に対応)						
①今後のあり方を検討していく。						

2次評価（施策主管部長）

2次評価（施策主管部長）		施策主管部長	政策担当部長			
重要業績評価指標 (KPI)について	指標名: 地域コミュニティに対する町民の評価(加重平均)					
	基準値	H28	H29	H30	H31	目標値
	0.19	0.20 H29アンケート	0.13 H30アンケート	0.13 H31アンケート		0.50以上
	達成状況に関する分析					
	アンケート対象者が異なるため比較は困難だが、地域コミュニティ再生のための取り組みが全町的に認知されてきたとは言えないので、引き続き、情報発信と他地区への展開を考える必要がある。					
<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し						
「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案						
2次評価	みんなで地域コミュニティ再生・活性化プロジェクト の成果について					
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない					
	説 明					
	町の少子高齢化を代表する一色小学校において取り組まれている地域コミュニティ再生では、空家対策、移動支援等、町全体の課題を先取りした新たな研究が始まっている。					
	施策: 地域コミュニティの醸成支援 の成果について					
<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった						
<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった						

外部評価（二宮町総合戦略評価委員会）

事業効果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった
	<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった
意見	<p> 施策「地域コミュニティの醸成支援」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。 </p> <p> 一色小学校区地域再生協議会の活動は、広報面も含めすばらしい活動だと思われるが、このような取り組みが全町的に広まらないため、地方創生としての効果が限定的と言わざるを得ない。 </p> <p> 町全体として、地域コミュニティの醸成支援の取り組みが町民にあまり知られていないことから、町民に対する積極的な情報提供とともに、一色小学校区地域再生協議会の取り組みなど、地域活動に有効となる先進事例の紹介など、地域活動の活性化に資する取り組みの更なる推進が必要である。 </p>	

二宮町総合戦略評価シート（30年度実績）

基本目標	安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	災害や犯罪に備える地域づくり

1次評価（プロジェクト推進担当課長）

プロジェクト担当課長

防災安全課長

プロジェクト	地域の力で災害に強いまちづくりプロジェクト	該当予算 事業数	A	B	C	D
実施計画事業	01 地域の安全力向上	1	●			
	02 消防・救急活動事業	8		●		
	03 広域行政推進事業	1		●		
	04 地域防災支援事業	1	●			
	05 地域コミュニティ支援事業	1	●			
	06 学校・地域連携事業	1		●		
	07 防災・危機管理体制強化事業	6	●			

1次評価

継続推進 見直し(要改善) 休止・廃止

平成30年度の
取り組み

成果
町民と協力・連携した防災・減災まちづくりの推進において、あらゆる機会をとらえて連携をはかることで、地区防災マニュアル作成の推進や防災指導員の育成をはじめ、各地区の特色に合わせた防災訓練の自主的な実施などの促進が図れている。特に地区長連絡協議会での防災研究会においては、地区防災マニュアルの早期策定に向けた取り組みもあった。

課題
①平成31年度中の全地区の防災マニュアル策定に向け、進捗状況に差が生じている。

改善点(課題番号に対応)
①各地区において、地区防災マニュアル策定に向けた会合を設けてもらい、個別対応による支援も行うことで、マニュアル策定における課題を解決し、促進を図る。

2次評価（施策主管部長）

施策主管部長

政策総務部長

重要業績評価指標 (KPI)について	指標名:地区防災マニュアルの策定					
	基準値	H28	H29	H30	H31	目標値
	—	0地区	1地区	4地区		20地区策定
	達成状況に関する分析 策定済地区は4地区であるが、最終的な取りまとめを行っている地区が6地区、個別対応している地区が5地区となっており、今後も、先進地区の事例紹介等や個別対応により、残り5地区を含めた全地区の策定に向けた促進を図る。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し					
	「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案					
	指標名:防災・減災まちづくりに対する町民の評価(加重平均)					
	基準値	H28	H29	H30	H31	目標値
	0.42 H28アンケート	0.52 H29アンケート	0.35 H30アンケート	0.33 H31アンケート		0.50以上
	達成状況に関する分析 地域と町との防災連携について、個別世帯への周知が不十分であると考えられる、地区防災マニュアルの中でも、各世帯への周知を重視しているため今後さらなる促進を図る。					
<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し						
「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案						
2次評価	地域の力で災害に強いまちづくりプロジェクト の成果について					
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない					
	説明 日頃からの連携が、防災力の向上にかかる活動の促進につながっている。					
	施策: 災害や犯罪に備える地域づくり の成果について					
	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった					

外部評価（二宮町総合戦略評価委員会）

事業効果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった
	<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった
意見	<p> 施策「災害や犯罪に備える地域づくり」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。 地区防災マニュアルの策定などについて、一定の進捗があることは評価できるが、行政としてハザードマップで課題となっている点への対応や重点的に取り組むべき内容が明確にされていない。 特徴的な防災の取り組みは町の魅力につながるため、小さい町の強みを活かし、情報収集・情報発信能力を強化するなど、対外的に打ち出せる特徴とすることで、複合的な効果が期待できる。 </p>	

二宮町総合戦略評価シート（30年度実績）

基本目標	二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
施策	「にのみやLife」の提案と発信

1次評価（プロジェクト推進担当課長）

		プロジェクト担当課長	地域政策課長				
プロジェクト	「にのみやLife」プロモーションプロジェクト		該当予算 事業数	A	B	C	D
実施計画事業	01	「にのみやLife」全国展開シティプロモーション事業	1	●			
	02	広報活動事業	1	●			
1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し(要改善) <input type="checkbox"/> 休止・廃止						
平成30年度の 取り組み	成 果						
	<ul style="list-style-type: none"> ・シティプロモーション事業を展開したこともあり、平成29年度に引き続き、平成30年度においても転入者が転出者を上回る「転入超過」となった。 						
	課 題						
	①ホームページについて、閲覧者が必要としている情報に、スムーズにたどりつけるようにする。						
改善点(課題番号に対応)							
①各課より選出の広報リーダーを中心とした広報連絡会議を開催し、閲覧しやすいホームページに改善していく。							

		プロジェクト担当課長	都市整備課長				
プロジェクト	空き家を活用した定住希望実現プロジェクト		該当予算 事業数	A	B	C	D
実施計画事業	01	空家等対策推進事業	1	●			
	02	住環境向上支援事業	1		●		
	03	耐震相談・診断事業	1		●		
1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し(要改善) <input type="checkbox"/> 休止・廃止						
平成30年度の 取り組み	成 果						
	<ul style="list-style-type: none"> ・空家等対策協議会の実施・二宮町特定空家等審査会条例の制定 ・耐震診断補助・耐震改修補助・無料耐震相談会の実施 ・ブロック塀撤去工事費補助の新設 						
	課 題						
	①耐震診断や改修の実績が低い。 ②新設したブロック塀撤去工事費補助の認知の低さ。						
改善点(課題番号に対応)							
①②固定資産税納税通知書に補助制度チラシを同封、及び該当家屋にポスティングを実施し周知を図る。また、耐震相談会については、実施方法を変更し事業を推進する。							

		プロジェクト担当課長	都市整備課長				
プロジェクト	親・子・孫の同居・近居実現プロジェクト		該当予算 事業数	A	B	C	D
実施計画事業	01	住環境向上支援事業	1		●		
1次評価	<input type="checkbox"/> 継続推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(要改善) <input type="checkbox"/> 休止・廃止						
平成30年度の 取り組み	成 果						
	平成30年度から住宅リフォームだけでなく、他課により実施されていた「空き家リフォーム事業」(空き家対策)及び、「同居・近居リフォーム事業」(高齢者対策)と統合し一本化するとともに手続きの簡素化を図り、より使いやすい制度となるよう改めた。						
	課 題						
	①同居・近居助成制度の利用実績が低く、制度を見直しする必要がある。						
改善点(課題番号に対応)							
①住宅リフォーム等助成制度は平成31年度で終了するため、今後のあり方を検討していく。							

2次評価（施策主管部長）

施策主管部長

政策担当部長・都市部長

重要業績評価指標 (KPI)について	指標名:「にのみやLife」PRのHPの閲覧数					
	基準値	H28	H29	H30	H31	目標値
	14,451	40,584	46,423	37,754		基準値の4倍
	達成状況に関する分析					
	昨年度見直した目標値を達成するために、より使いやすい、判りやすいHPへの改善に取り組む必要がある。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し					
	「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案				基準値の4倍	
	指標名:空き家バンクに登録された空き家(空き地を含む)の利活用件数					
	基準値	H28	H29	H30	H31	目標値
	-	1件	1件	1件		5件
達成状況に関する分析						
・件数は1件であるが空き家バンクへの登録、登録後の成約など動きがあった。						
<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し						
「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案						
2次評価	「にのみやLife」プロモーションプロジェクトの成果について					
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない					
	説明					
	移住フェアなどでは「二宮町」をターゲットに参加される方も増えており、転入増加に繋がっている。					
	空き家を活用した定住希望実現プロジェクトの成果について					
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない					
	説明					
	・少数であるが継続的に実績があり、二宮町を知るための手段の一つとなった。					
	親・子・孫の同居・近居実現プロジェクトの成果について					
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない					
説明						
・親との同居の検討により、定住・移住の促進につながったことが見込まれる。						
施策:「にのみやLife」の提案と発信の成果について						
<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった						
<input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった						

外部評価（二宮町総合戦略評価委員会）

事業効果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった
	<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった
意見	<p>施策「『にのみやLife』の提案と発信」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>シティプロモーション事業は、特徴的な移住フェアの実施や工夫された情報発信などにより一定の成果が出ていると評価できるが、継続性を確保する必要がある。</p> <p>また、都心部の人たちが二宮の海や東大果樹園跡地の取り組みに触れて、さらに転入意欲を高める機会を作るため、お試し移住など更なる転入促進の取り組みについても検討する必要がある。</p> <p>なお、町のホームページについては、見にくいとの意見もあるため、移住促進の観点からも早急に改善について検討するべきである。</p>

二宮町総合戦略評価シート（30年度実績）

基本目標	二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
施策	二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり

1次評価（プロジェクト推進担当課長）

プロジェクト	みんなの二宮を知ろう・学ぼうプロジェクト	該当予算 事業数	生涯学習課長			
			A	B	C	D
実施計画事業	01 「にのみやLife」全国展開シティプロモーション事業	1	●			
	02 観光まちづくり推進事業	1		●		
	03 緑と花いっぱい推進事業	1	●			
	04 自然保護事業	1		●		
	05 「農」のある暮らし推進事業	2	●			
	06 水産振興事業	1	●			
	07 生涯学習振興事業	1	●			
	08 青少年育成支援事業	2		●		
	09 家庭・地域・学校の協力連携事業	1		●		
	10 文化振興事業	1		●		
	11 ふるさと教育推進事業	2	●			

1次評価 継続推進 見直し(要改善) 休止・廃止

平成30年度の 取り組み	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・町民大学講座や文化祭、民俗芸能のつどいなど、町民が主体となって運営している事業を通じて、子どもから大人まで広く町の文化や歴史にふれる機会を提供している。 ・将来を担う子どもの健全育成のため、青少年指導員活動の推進や子ども会活動の支援を行っている。
	課題	①町の歴史や自然に詳しい人材が減りつつあり、次世代に繋いでいくための方策が必要である。
	改善点(課題番号に対応)	①今後も関係団体と連携し、伝統文化の継承や歴史や自然に触れる機会を提供するとともに、町の歴史等の記録を残していく必要がある。

プロジェクト	生涯学習センター・ラディアンの交流拠点化プロジェクト	該当予算 事業数	生涯学習課長			
			A	B	C	D
実施計画事業	01 安心して住み続けられる地域再生事業	1	●			
	02 公有財産管理運営事業	2	●			
	03 公園整備・管理事業	1		●		
	04 生涯学習振興事業	1	●			
	05 文化振興事業	1		●		

1次評価 継続推進 見直し(要改善) 休止・廃止

平成30年度の 取り組み	成果	ラディアン・図書館ともに町の文化拠点として、町民団体や個人により多目的に利用されている。また、町民との協働による事業展開により利用促進を図っている。
	課題	①開館から20年が経過し、施設の劣化、機能低下により、修繕箇所が増大している。 ②図書館については、貸出者数は横ばい、入館者数は減少傾向となっている。
	改善点(課題番号に対応)	①現況調査に基づき、修繕計画を策定し、計画的に大規模修繕を行い、適切な維持管理に努める。 ②図書館については、学校等と連携し、児童・生徒の利用を促進する。

2次評価（施策主管部長）

施策主管部長

教育部長

重要業績評価指標 (KPI)について	指標名：生涯センター・ラディアンの施設稼働率					
	基準値	H28	H29	H30	H31	目標値
	54.0%	55.1%	55.2%	51.5%		60%
	達成状況に関する分析					
	修繕のためホールを休止していた期間があったことなどから、稼働率は下がっている。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し					
	「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案					
	指標名：図書館の来館者数					
	基準値	H28	H29	H30	H31	目標値
	217,925人	213,555人	212,004人	174,944		240,000人
	達成状況に関する分析					
	計測器の変更により、大幅に減った数値が計測されたが、貸出冊数は若干の減少であり、例年並みの入館者があったと推測される。目標値については検討が必要。					
	<input type="checkbox"/> 継続推進 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し					
	「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案					
	図書館の貸出数					
指標名：文化・芸術活動に対する評価(加重平均)						
基準値	H28	H29	H30	H31	目標値	
0.04	0.08 H29アンケート	0.01 H30アンケート	-0.19 H31アンケート		0.50以上	
達成状況に関する分析						
ラディアンを中心し様々な文化・芸術関係の取組みを行っているが、数値は伸びず、取組みが町民に伝わっていないことや、興味に結び付いていないことなどが考えられる。						
<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し						
「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案						
2次評価	みんなの二宮を知ろう・学ぼうプロジェクト の成果について					
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない					
	説明					
	シティプロモーションなど、工夫をしながら積極的に取り組んでおり、転入者の増加につながっている。					
	生涯学習センター・ラディアンの交流拠点化プロジェクト の成果について					
	<input type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない					
	説明					
事業には一定の評価があるものの、KPIは伸びていない。						
施策： 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり の成果について						
<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった						
<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった						

外部評価（二宮町総合戦略評価委員会）

事業効果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった
意見	<p>施策「二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>文化拠点である生涯学習センターラディアンや、観光拠点である吾妻山については、立地や規模などが非常に魅力的であるため、多方面に対してさらにPR活動を展開することで、来客等を増やすことができると考える。</p> <p>また、図書館についても近隣大学との連携などにより、さらに魅力的なあり方について検討できる要素がある。</p> <p>なお、より説得力あるKPIとするため、単純な図書館来館者数ではなく、町民一人当たりの貸し出し数とするなど、検討する余地がある。また、文化に対するアンケート結果など、指標としてそぐわないものもあるため、精査する必要がある。</p>

二宮町総合戦略評価シート（30年度実績）

基本目標	二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
施策	特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成

1次評価（プロジェクト推進担当課長）

		プロジェクト担当課長	教育総務課長			
プロジェクト	子どもたちの「生きる力」創造プロジェクト	該当予算事業数	A	B	C	D
実施計画事業	01 特色ある学校教育推進事業	2		●		
	02 コミュニティ・スクール導入促進事業	2	●			
	03 支援教育推進事業	1	●			
	04 教育相談・教育支援室事業	1		●		

1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進	<input type="checkbox"/> 見直し(要改善)	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
------	--	-----------------------------------	--------------------------------

平成30年度の取り組み	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールについては、一色小が平成30年度から本格実施し、他4校も平成31年度からの本格実施に向け準備委員会を発足した。 ・支援教育推進事業については、引き続き支援教育補助員の配置により、多様化する児童生徒のニーズへの対応を図った。 ・教育相談・教育支援室事業については、いじめや虐待ケースが発生した場合の対応について、あらためて整理することで、対応力の向上を図った。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ①特色ある学校教育推進事業とコミュニティ・スクール導入促進事業については、学校への補助金が細分化しているため、整理が必要となっている。 ②児童生徒が抱える課題や相談内容が多様化する中、スクールソーシャルワーカーや心理教育相談員、支援教育補助員など、一人ひとりのニーズに沿ったきめ細やかな支援を実施するための人材が不足している。
	改善点(課題番号に対応)	<ul style="list-style-type: none"> ①特色ある学校教育推進事業について、平成31年度予算において、コミュニティ・スクール運営促進事業に統合。 ②町村会などを通じて、必要な人的配置を国・県に要望する。

2次評価（施策主管部長）

		施策主管部長	教育部長				
重要業績評価指標(KPI)について	指標名: 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(「当てはまる」・「どちらかといえば当てはまる」に回答)	基準値	H28	H29	H30	H31	目標値
		76.4%	77.0%	75.5%	77.6%		80.0%以上
	達成状況に関する分析	目標値を変更したが、引き続き数値がのびている。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進	<input type="checkbox"/> 目標値の見直し	<input type="checkbox"/> 指標の見直し			
		「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案					
	指標名: これからも運動を続けたいと思う児童生徒の割合	基準値	H28	H29	H30	H31	目標値
		60.1%	67.6%	71.0%	71.8%		70.0%以上
	達成状況に関する分析	目標値に達しているため見直しが必要。					
		<input type="checkbox"/> 継続推進	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値の見直し	<input type="checkbox"/> 指標の見直し			
		「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案					

2次評価	子どもたちの「生きる力」創造プロジェクトの成果について	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった	<input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない
	説明	コミュニティ・スクールを始め、児童生徒をとりまく教育環境の整備が図られた。	
	施策: 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成の成果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった	<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった
		<input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった

外部評価（二宮町総合戦略評価委員会）

事業効果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった
	<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった
意見	<p> 施策「特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。 </p> <p> 施策に紐付けられた2つのKPIは、学校現場のご努力などにより、順調に伸びており評価できるポイントだと考える。また、先行導入した一色小学校のコミュニティスクールも体験活動などが充実しており、特色がある教育環境と言える。 </p> <p> ただし、教育環境は町だけで整えきれものではないため、適切に国や県に働きかけるとともに、令和元年度にコミュニティスクールを本格導入した町内4校についても、先進事例を参考に学校ごとの特色が出せるよう働きかけをする必要がある。 </p> <p> また、特色ある学校教育は転入促進にも効果がある大きな魅力の一つのなりうるので、懸案となっている小中一貫校の設置についても、十分に町民意見を踏まえたうえで方向性を示す必要がある。 </p>	

二宮町総合戦略評価シート（30年度実績）

基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる
施策	子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目ない支援と環境づくり

1次評価（プロジェクト推進担当課長）		プロジェクト担当課長	子育て・健康課			
プロジェクト	子ども・子育て家庭への切れ目ない支援実現プロジェクト	該当予算事業数	A	B	C	D
実施計画事業	01 子育て世代包括支援センター	2	●			
	02 地域医療連携推進事業	1	●			
	03 要支援児童への対応	1	●			
1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し(要改善) <input type="checkbox"/> 休止・廃止					
平成30年度の取り組み	成果					
	・平成30年度より「にのはぐ」と児童相談が同一部署になったので早期対応が可能となった。					
	課題					
	①同じ家庭を長期間（妊娠期から18歳まで）に渡り関わりを持つことが増えてきている。					
改善点(課題番号に対応)						
①専門職の長期配置が必要。						

		プロジェクト担当課長	子育て・健康課長			
プロジェクト	子どもを安心して預けることのできる保育・子どもの居場所づくりプロジェクト	該当予算事業数	A	B	C	D
実施計画事業	01 保育サービス充実事業	3	●			
	02 地域子育て推進事業	1		●		
	03 地域子育て環境づくり事業	1		●		
	04 要支援児童への対応	1	●			
	05 放課後児童対策事業	1	●			
	06 家庭・地域・学校の協力連携事業	1		●		
1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し(要改善) <input type="checkbox"/> 休止・廃止					
平成30年度の取り組み	成果					
	・平成31年4月より子育てサロン及び一時預かり事業（一部）を運営委託するための準備を行なった。 ・子ども・子育て支援事業計画の改定を行うため、子育て世代にアンケート調査を実施。 ・4月より病後児保育事業が利用開始。					
	課題					
	①保育士、学童支援員、任せた会員（ファミサポ）の確保 ②病後児保育の利用促進					
改善点(課題番号に対応)						
①保育士確保の方策（補助金交付など）の検討を行う。 ②幼稚園や保育園にチラシの配布を行っているが、改めて広報活動に努める。						

2次評価（施策主管部長）

施策主管部長

健康福祉部長

重要業績評価指標 (KPI)について	指標名:子育て環境に対する町民の評価(加重平均)					
	基準値	H28	H29	H30	H31	目標値
	0.18	0.30 H29アンケート	0.21 H30アンケート	0.00 H31アンケート		0.50以上
	達成状況に関する分析					
	町民の評価は下降しており基準値を下回ったことから、更なる取り組みが必要である。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し					
	「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案					
	指標名:年少人口割合					
	基準値	H28	H29	H30	H31	目標値
	10.7%	10.8%	10.7%	10.5%		10.2%
	達成状況に関する分析					
	年少人口割合は減少傾向にあるものの、目標値は達成しており、引き続き取り組む。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し					
	「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案					
	指標名:待機児童数					
基準値	H28	H29	H30	H31	目標値	
10人	5人	1人	0人		0人	
達成状況に関する分析						
平成31年4月現在の待機児童は0人で目標を達成したが、年度途中での待機や新たな保育ニーズの増加に対応するため、引き続き取り組む。						
<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し						
「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案						
2次評価	子ども・子育て家庭への切れ目ない支援実現プロジェクト					の成果について
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない					
	説明					
	子育て世代包括支援センター「にのはぐ」と児童相談を同一部署に編成したことにより、従来にも増して切れ目のない支援を進めることができた。					
	子どもを安心して預けることのできる保育・子どもの居場所づくりプロジェクト					の成果について
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない					
	説明					
民間保育所、民間学童保育所の新設や、子育てサロン、一時預かりの民間委託による拡充に取り組んだことにより、保育環境の充実を図ることができた。						
施策: 子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目ない支援と環境づくり の成果について						
<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった			<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった			
<input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった			<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった			

外部評価（二宮町総合戦略評価委員会）

事業効果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった
	<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった
意見	<p> 施策「子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目のない支援と環境づくり」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。 </p> <p> 子育て支援施策として、病後時保育事業の実施や子育て包括支援センターの設置など、取り組みは着実に進めているほか、他の市町で懸案となっている待機児童問題を解消したところは評価できる。 </p> <p> しかし、子育て世代の満足度が低いため、ニーズの分析をきちんとしたうえ、周知に力を入れ、事業を展開していく必要がある。 </p>	

二宮町総合戦略評価シート（30年度実績）

基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる
施策	子育てと仕事の両立の推進

1次評価（プロジェクト推進担当課長）

1次評価（プロジェクト推進担当課長）		プロジェクト担当課長	地域政策課長			
プロジェクト	子育て世代のワーク・ライフ・バランス実現プロジェクト	該当予算事業数	A	B	C	D
実施計画事業	01 要支援児童への対応	1	●			
	02 生涯学習振興事業	1	●			
	03 中小企業支援事業	1		●		
	04 人権啓発活動事業	2	●			
	05 行政改革推進事業	1		●		
1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し(要改善) <input type="checkbox"/> 休止・廃止					
平成30年度の取り組み	成果					
	・人権、男女共同参画、男性の育児休業取得の啓発は、県や関係機関の発行物の活用やイベント等を通じ、周知・啓発を図ることができた。					
	課題					
	①ワーク・ライフ・バランスの実現には、継続的かつ効果的な意識啓発をする必要がある。					
	改善点(課題番号に対応)					
①幅広い層の理解や関心が深まるように、情報内容や発信方法を工夫する。						

2次評価（施策主管部長）

2次評価（施策主管部長）		施策主管部長			政策担当部長	
重要業績評価指標 (KPI)について	指標名：女性の就業率(25～44歳)					
	基準値	H28	H29	H30	H31	目標値
	65.40%	—	—	—		70.3%以上
	達成状況に関する分析					
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し					
	「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案					
	指標名：男性の家事・育児時間					
	基準値	H28	H29	H30	H31	目標値
	1時間21分	1時間16分 H29アンケート	1時間32分 H30アンケート	1時間26分 H31アンケート		2時間以上
	達成状況に関する分析					
	アンケート対象者が異なるため比較は困難だが、男性の家事・育児時間が増加する傾向にはないため、引き続き啓発・情報発信に努める必要がある。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し					
	「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案					
	指標名：役場男性職員の育児休業取得割合					
	基準値	H28	H29	H30	H31	目標値
0%	10%	12.5%	8.0%		50%	
達成状況に関する分析						
家庭環境などに係わらず、男性が率先して育児休業を取得するように、職場全体で後押しできる環境を整えていく必要がある。						
<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し						
「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案						

2次評価	子育て世代のワーク・ライフ・バランス実現プロジェクト の成果について	
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった	<input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない
	説明	
	ワーク・ライフ・バランスの実現のため、さらなる普及啓発と情報発信に取り組む。	
	施策： 子育てと仕事の両立の推進 の成果について	
	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった
<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった	

外部評価（二宮町総合戦略評価委員会）

事業効果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった
	<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった
意見	<p>施策「子育てと仕事の両立の推進」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>本施策のKPIには課題があり、施策の進捗をこのKPIだけで判断することは困難である。よって関連性が高い前施策と一体的に評価し、子育てと仕事の両立の支援が進んだとは言いきれないと判断した。</p> <p>今後施策の進捗を判断するのに適切なKPIの設定について検討する必要がある。</p>	

二宮町総合戦略評価シート（30年度実績）

基本目標	二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる
施策	地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくり

1次評価（プロジェクト推進担当課長）		プロジェクト担当課長	産業振興課長				
プロジェクト	二宮町での起業・開業支援プロジェクト		該当予算 事業数	A	B	C	D
実施計画事業	01	商工業振興対策事業	2		●		
1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し(要改善) <input type="checkbox"/> 休止・廃止						
平成30年度の 取り組み	成 果						
	①町が策定した創業支援事業計画に位置付けている創業相談セミナー（創業塾）を、商工会が実施した。 ②創業支援事業計画について、町及び関係機関においては相談受付の他、計画に位置付けている事業を実施した。						
	課 題						
	①創業塾は当該計画において特定創業支援事業に位置付けており、全て受講することにより様々な支援が受けられるが、各種支援について効果的な支援施策がなく、また、支援につながらなかったため、効果的な支援策の検討が必要。 ②町及び関係機関においては計画に位置付けている事業を実施しているが、支援数や創業者数が目標数に達さなかった。町広報やHP、関係機関等においてチラシ配架等で計画の周知をしているが、周知方法の再考が必要。						
改善点(課題番号に対応)							
①計画を策定している自治体の支援策の検討や、受講者のニーズをとらえるため、受講後のアンケート実施などを検討する。 ②他自治体の状況を確認するなど、効果的な周知方法の検討を行う。							

2次評価（施策主管部長）		施策主管部長			都市部長	
重要業績評価指標 (KPI)について	指標名: 町内起業・開業件数(商工会加入件数)					
	基準値	H28	H29	H30	H31	目標値
	—	12件 (加入件数 22件)	8件/累計20件 (加入件数 16件)	8件/累計28件 (加入件数 22件)		35件以上(累計)
	達成状況に関する分析					
	・創業支援の連携を商工会と行い、着実に実績を積み上げている。					
<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し						
「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案						
2次評価	二宮町での起業・開業支援プロジェクトの成果について					
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない					
	説 明					
	・二宮町創業支援計画に基づき、創業者支援を引き続き推進し、商工業の振興の一端を担っている。					
	施策: 地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくりの成果について					
<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった						
<input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった						

外部評価（二宮町総合戦略評価委員会）

事業効果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった
	<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった
意見	<p> 施策「地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくり」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。 町や商工会がオリーブをはじめとした特産品を使った商業振興に熱心に取り組んでいることは評価できるものの、創業支援や事業継続支援について、より町商工会と連携して事業を推進していく必要がある。 また、商業振興への取り組みを一般町民が知らないということは問題であるため、誰もが取り組みとその目的についてわかるよう、情報発信の方法そのものについて検討する必要がある。 なお、KPIについても課題があると考えするため、関心がある人がどのくらい創業しやすいのかという観点で指標を立てるなど、成果指標そのものについても検討する必要がある。 </p>	

二宮町総合戦略評価シート（30年度実績）

基本目標	二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる
施策	町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消等の可能性検討

1次評価（プロジェクト推進担当課長）

プロジェクト		プロジェクト担当課長		生活環境課長			
		該当予算 事業数	A	B	C	D	
再生可能エネルギー事業の起業支援プロジェクト							
実施計画事業	01 地球環境保全事業	1	●				
1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し(要改善) <input type="checkbox"/> 休止・廃止						
平成30年度の 取り組み	成果 ・ K P I に設定した二宮町において民間事業者による再生可能エネルギー事業の導入促進が効果的と考えられる起業支援策（5施策）の平成31年度からの実施に向け、関係部署との調整などの準備を進めた。 ・ 5施策のうち、「再生可能エネルギー事業事業化の支援（省エネ診断）」、「再生可能エネルギー発電設備に係る課税標準の特例措置（わがまち特例）」の2つについて、平成30年度中に実現した。						
	課題 ①残り3つの起業支援策のうち、「国・県支援策の情報発信」、「中小企業金融対策資金」については、実現の目途が立っているものの、「地産地消の促進（行政による積極的な地域電力エネルギーの導入）」については、コスト面から現状、実現が困難である。						
	改善点（課題番号に対応）						
	①他自治体における導入支援策の情報を担当部署に情報提供する等して、「電力調達に係る環境配慮実施要領」の改定等について働きかけを行う。						

2次評価（施策主管部長）

重要業績評価指標 (KPI)について		施策主管部長				都市部長	
		基準値	H28	H29	H30	H31	目標値
指標名：再生可能エネルギー事業に関する起業支援策の実現数		—	—	—	2		5施策
達成状況に関する分析		・ 関係部署との調整により、着実に実績を積み上げることができた。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し					
		「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案					
2次評価	再生可能エネルギー事業の起業支援プロジェクト の成果について						
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない						
	説明 ・ 町において再生可能エネルギー事業の導入促進が効果的と考えられる支援策の実現や今後に向けた準備も進んでいる。						
	施策： 町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消等の可能性検討 の成果について						
	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった						

外部評価（二宮町総合戦略評価委員会）

事業効果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった	<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった
意見	<input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった 施策「町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消等の可能性検討」について、目標達成に向けた進捗は概ね順調ではあるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある。 基本目標に対して、施策の名称と取り組みがマッチングしているか疑問である意見はあるものの、施策に紐付けられたKPIは順調に推移し、すでに起業者がいることも評価できる。 今後、残る施策の達成に向け努力するとともに、施策の実施に伴う効果が得られるよう民間事業者等に適切な情報発信等を行っていく必要がある。	

二宮町総合戦略評価シート（30年度実績）

基本目標	二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる
施策	身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出

1次評価（プロジェクト推進担当課長）		プロジェクト担当課長	産業振興課長				
プロジェクト	二宮で働きたい人の就業応援プロジェクト		該当予算 事業数	A	B	C	D
実施計画事業	01	商工業振興対策事業	2		●		
1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し(要改善) <input type="checkbox"/> 休止・廃止						
平成30年度の 取り組み	成 果						
	①神奈川県との共催により39歳以下を対象としたわかもの就職支援セミナーと40歳以上を対象とした中高年のための再就職支援講座を当施策として初めて実施した。 ②神奈川県その他、関係機関にて発行されている就業関係のチラシ等を商工会などに配架し周知を図ることができた。						
	課 題						
	①実施したセミナーの参加者について、わかもの就職支援セミナーは参加者0人であったため、周知方法の再考が必要。 ②関係機関した就職相談会等の検討が必要。						
改善点(課題番号に対応)							
①セミナー開催や各種広報については、近隣自治体等と連携して周知する。 ②近隣自治体と連携を図り、実施に向けて検討していく。							

		プロジェクト担当課長	産業振興課長				
プロジェクト	就農・地産地消応援プロジェクト		該当予算 事業数	A	B	C	D
実施計画事業	01	農業振興事業	1		●		
	02	遊休・荒廃農地対策事業	1		●		
	03	特産物普及奨励事業	1		●		
1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し(要改善) <input type="checkbox"/> 休止・廃止						
平成30年度の 取り組み	成 果						
	・町遊休荒廃農地対策補助金を活用し、荒廃地の解消が行われた。 ・新たにオリーブ商品が二宮ブランドに認定される等、普及奨励を図った。						
	課 題						
	①荒廃地対策を推進するため、補助制度や農地中間管理事業等の周知がさらに必要となる。 ②オリーブの地域ブランド化の確立を図る必要がある。						
改善点(課題番号に対応)							
①農業委員や関係機関等と連携を図り、さらに制度周知に努める。 ②近隣市町や関係機関等と連携し、地域ブランド化の推進を図る。							

2次評価（施策主管部長）		施策主管部長			都市部長	
重要業績評価指標 (KPI)について	指標名：二宮町における従業者数					
	基準値	H28	H29	H30	H31	目標値
	5,568人	5,495人	—	—		5,678人以上
	達成状況に関する分析					
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し					
	「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案					
	指標名：農業参入(法人・個人)数					
	基準値	H28	H29	H30	H31	目標値
	2件	0件	1件	1件		2件(人) 以上増加
	達成状況に関する分析					
・前年度には実績を積み上げることができたが今年度は達成することが出来なかった。						
<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し						
「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案						

2次評価	二宮で働きたい人の就業応援プロジェクト		の成果について	
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった		<input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない	
	説明			
	創業支援計画に基づき、創業支援を行い開業実績につながった。			
	就農・地産地消応援プロジェクト		の成果について	
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった		<input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない	
	説明			
	・就農を支援を希望する方がいるため、引き続きサポートを行っていく。			
	施策： 身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出		の成果について	
<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった		<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった		
<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった		<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった		

外部評価（二宮町総合戦略評価委員会）

事業効果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった		<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった		<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった	
意見	<p>施策「身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>身近な地域で働く環境づくりをするためには、就業・就農希望者のニーズを踏まえるため、町商工会や町農業委員会とさらに協力・連携して事業を展開していく必要がある。</p> <p>しかし、人口減少が進むなか、新たな形の就業体系も出現しており、コワーキングスペースなどを含めた新たな就業についても視野に入れた支援策についても検討する必要がある。</p> <p>なお、施策の進捗について評価するための成果指標は農業参入数しか参考にできなかったため、今後適切な成果指標の設定についても検討する必要がある。</p>			